日帰り全身麻酔プロトコール

① 患者選択（絶対的条件）

帰宅時に付き添うことのできる適切な家族が存在すること

1～2 時間以内に医療機関を受診可能であること

② 術前評価・検査

院内手術マニュアルに沿って行う

③ **術前絶飲食時間**　（日本麻酔科学会推奨）

術前絶飲時間

摂取物	絶飲時間（時間）
清澄水	2
母乳	4
人工乳・牛乳	6

④ 麻酔方法

基本的には吸入麻酔で行い、麻薬・筋弛緩薬は使用しない

PONV リスクが高い患者ではTIVA を考慮する

⑤ PONV 対策

Apfel risk score（それぞれ 1 点として加算）

女性・非喫煙者・PONV 既往もしくは乗り物酔いの既往あり・術後オピオイド使用

0-1 点：低リスク（予測発生率 10-20%）

2 点：中リスク（予測発生率 30-40%）

3-4 点:（高リスク（予測発生率 50-80%）

リスクの高い症例では、TIVA、オンダンセトロンを中心に制吐剤を投与する

⑥ 術後鎮痛

NSAID s（ロキソプロフェン・ジクロフェナク）やアセトアミノフェンを使用する

⑦ 帰宅基準

Post Anaesthetic Discharge Scoring System(PADSS)

（満点は 10 点で、帰宅には 9 点か 10 点が必要）

点数	2	1	0
バイタルサイン	術前値の 20%以内の変動	術前値の 20%から 40%の変動	術前値の 40%以上の変動
意識と歩行	名前、場所、時間の認識ができ、かつ歩行がしっかりしている	名前、場所、時間の認識ができるか、または歩行がしっかりしている	いずれもできない
悪心嘔吐	ほとんどない	軽度	強い
出血	ほとんどない	軽度	多い
経口摂取と排尿	飲水と排尿が可能	飲水または排尿が可能	できない